

分野	ため池の補強等		事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(農村災害対策)		
市町村名	高山村	ふりがな 箇所名	おく やま だ 奥 山 田		事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度 ~ H28年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	農業用排水施設整備 L=2,937m				H23年度末事業進捗率	0%	
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	測量設計 一式				用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残		
	事業費計(千円)	150,000	0	0	19,000	150,000		
財源内訳	国庫支出金	82,500			10,450	82,500		
	その他	24,000			3,040	24,000		
	県債	39,000			4,000	39,000		
	一般財源	4,500			1,510	4,500		
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評 価			ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	10戸以上	1~9戸	0戸	A	15	
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		5	
		小 計					20	
	重要性 (15)	水利施設としての依存度	依存度 大	依存度 中	依存度 小	A	7	
		かんがい(排水)受益	100ha以上	40ha以上100ha未満	40ha未満		3	
		防災計画上の位置づけ	位置付けあり	位置付けなし			3	
	小 計					13		
	効率性 (10)	防災効果(B/C)	1.2以上	1.1以上1.2未満	1.0以上1.1未満	A	4	
		早期発現度(効果発現まで)	5年未満	5年以上10年未満	10年以上		2	
		ローカルスタンダード(L.S.)計画及びコスト縮減及び代替案検討等	(様式4)3項目以上該当	(様式4)2項目該当	(様式4)1項目該当		2	
	小 計					8		
	緊急性 (35)	施設への影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある	A	7	
		周辺へ与える影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある		7	
		過去の被災履歴(河川管理者からの改善要求等)	5年以内に複数回(改善要求書がある)	5年以内に1回(改善勧告がある)	左記以外に被災有(改善勧告なし)		10	
		応急対策の実施状況	応急対策実施中	過去に実施済み	応急対策未実施		5	
	小 計					29		
	計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	6	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3	
住民参加の状況		住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない	4			
小 計					13			
費用対効果(B/C)	5.74	評 価 の 合 計			A	83		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	西原用水路は急峻な山腹を流下する用水路で、未改修の土水路区間では、越流による溢水や、土石流による、下流の農地や家屋及び県道、公共施設等への被害が想定される。また、長峯用水路周辺は、急傾斜地崩落危険箇所、湧水の多い場所でもあり、土砂崩落防止壁とその周辺排水路が整備されたことで、集落内を流下する排水量が増加した。加えて県道、集落内の村道の整備により大雨時の水路への流入量が増加し、水路の溢水による農地、家屋への被害が発生している。						
	地域からの要望経緯	地元3集落及び、用水路の管理を行う耕作組合から村をととして要望が出されており、事業に対する合意形成も図られている。						
	事業説明等の経緯	事業内容の精査と併せて地元役員への説明会は実施済みである。今後、広報誌などにより広く事業の周知を図っていく。						
	環境・景観への配慮項目	コンクリート開水路でなくポリエチレン管暗渠による水路整備とすることにより、工事に係る機械設備や仮設が小規模なものとなるため、山林内を分断する大規模な地形の変更も無く、樹木の伐採も最小限に抑えられる。これにより生態系等への大きな影響は想定されない。また、工事に伴う、水質汚濁、騒音、振動等による周辺環境への影響を軽減させながら事業を推進していく。環境配慮制度予定箇所。						
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。						
	特記事項	特になし。						
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	土砂崩落等により排水路の災害防止機能が低下しており、下流域の民家・公共施設等保全対象が多いことから、必要性、緊急性が高い。		政策評価課意見	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。				